

令和5年度
第4回 北海道新興・再興感染症等対策専門会議【書面開催】
各委員からの意見とりまとめ

所属	職	氏名・本会議での役職
(一社) 北海道薬剤師会	常務理事	山野 勝美 委員
ご意見の内容		
<p>■道の体制について</p> <p>過去のコロナ対策において、多くの部署の職員の方にご尽力いただきました。感染拡大時には、人的要素の不足が考えられます。過去の経験を活かし、速やかに協力できるよう庁内の体制づくりをお願いしたい。</p>		

所属	職	氏名・本会議での役職
(公社) 北海道看護協会	—	大山 利枝 委員
ご意見の内容		
<p>■人材の確保・育成について</p> <p>支援ナースについては、当院からも派遣しましたが、派遣先からは感謝の言葉をいただきました。今後のためには、派遣した看護師が実施したことや、どのくらいの技術があるとよい、または環境清掃や患者の見守りなど、看護師経験が少ない、ブランクがあってもよい、など評価や課題の整理をしておく、次に未知の感染症や災害時の備えになると考えます。互いの施設の看護管理者が共有しておくことよいことと思います。派遣する側としても、具体的な指示や提案があると、選出しやすいと思います。</p> <p>■情報発信について</p> <p>個人的には新聞での情報発信は、情報が的確でタイムリーであり、職員への発信や対策を立てる上で、とても助かりました。また、今でも保管しており、コロナ対策の評価や今後の備えのために活用しています。</p>		

所属	職	氏名・本会議での役職
北海道保健所長会	会長	山本 長史 オブザーバー
ご意見の内容		
<p>■ 1. 人材の確保の項目について</p> <p>「今後の対応の方向性」で、医療機関・保健所を含めた研修については記載されていますが、感染症は医療関連にとどまらず、福祉施設や介護施設入、さらには、幼稚園を含む学校や保育所も程度の差があったとしても必要なことだと考えられます。</p> <p>■ 2. 道の体制の項目について</p> <p>各地で消防部局と保健部局の連携が大きな課題として上がっています。</p> <p>従来の協定はエボラを対象としているため他の感染症が該当しないことから、消防部局と保健部局で今後の感染症発生を踏めた協定を結ぶことが必要と考えます。</p> <p>また、この問題は本来ならば、厚生労働省と消防庁との問題であり、「3. 国への要望」でもあると思います。</p>		